

令和3年度
菅井地区デマンド交通運行実績

令和4年4月
相模原市 交通政策課

1. 菅井地区デマンド交通（実証運行期間）の運行内容

項目	定時定路線	フルデマンド運行
運行エリア・ 運行経路・ 運行ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・運行エリア中、小中学生の居住地最寄りの停留所のみ経由。 ・運行ダイヤ有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の乗合タクシーの範囲。 ・停留所は以前の乗合タクシーの16箇所 ・運行ダイヤ無。
利用登録	交通政策課にて利用登録証を行い、利用登録証を発行する。（利用登録は任意とし、利用登録がない人も利用可）	
予約の要否	<ul style="list-style-type: none"> ・予約不要。 ・原則小中学生のみ乗車可能だが、朝の時間帯のみ地域住民の混乗を認める。（登録制） 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則1時間前までの予約が必要。ただし、やまなみ温泉からの乗車に限り、空席があれば予約なしでも乗車可能。
運賃	<p>【1乗車の運賃】</p> <p>大人：距離別に100円～300円 小学生：距離別に50円～150円 障害のある方など：距離別に50円～150円 未就学児：無料</p> <p>【小中学生の通学】</p> <p>小中学生の通学に係る運賃は無料とする。（市負担）</p>	
運行日	平日のみ(12月29日～1月3日を除く)	年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日
運行時間	午前6時30分～午後6時30分まで 午前6時30分～午前8時まで(小中学校の授業が無い日)	平日 午前8時30分～午後6時30分 土休日 午前7時00分～午後6時00分

・令和元年度～令和3年度の3年間、「菅井地区デマンド交通」として実証運行を実施。
令和4年4月1日から、本格運行を開始。運行内容は実証運行期間との変更なし。
実証運行の結果、車両1台稼働での運行が可能であることが確認できている。（必要の際は増車対応）

2. 3年間の運行実績について

(1) 運行実績「利用者数」 【定時定路線/スクールバス分】

・小中学生のスクールバスとして安定して利用されており、一部混乗で地域住民の方も利用。

【令和元年度（H31.4～R2.3）】

運行回数	利用者	利用者内訳		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1,212回	2,202人	小学生	1,579人	—	—	1,007人	80人	322人	170人	—	—
		中学生	379人	18人	90人	—	35人	—	75人	96人	65人
		混乗者	244人	0人	244人	—	—	—	—	—	—
		合計	2,202人	18人	334人	1,007人	115人	322人	245人	96人	65人

【令和2年度（R2.4～R3.3）】

運行回数	利用者	利用者内訳		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1,087回	2,141人	小学生	1,587人	—	—	1,068人	17人	287人	215人	—	—
		中学生	400人	1人	139人	—	8人	5人	134人	89人	24人
		混乗者	154人	1人	153人	—	—	—	—	—	—
		合計	2,141人	2人	292人	1,068人	25人	292人	349人	89人	24人

【令和3年度（R3.4～R4.3）】

運行回数	利用者	利用者内訳		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1,152回	2,144人	小学生	1,638人	—	—	1,102人	0人	232人	304人	—	—
		中学生	360人	0人	133人	—	3人	2人	85人	78人	59人
		混乗者	146人	0人	146人	—	—	—	—	—	—
		合計	2,144人	0人	279人	1,102人	3人	234人	389人	78人	59人

2. 3年間の運行実績について

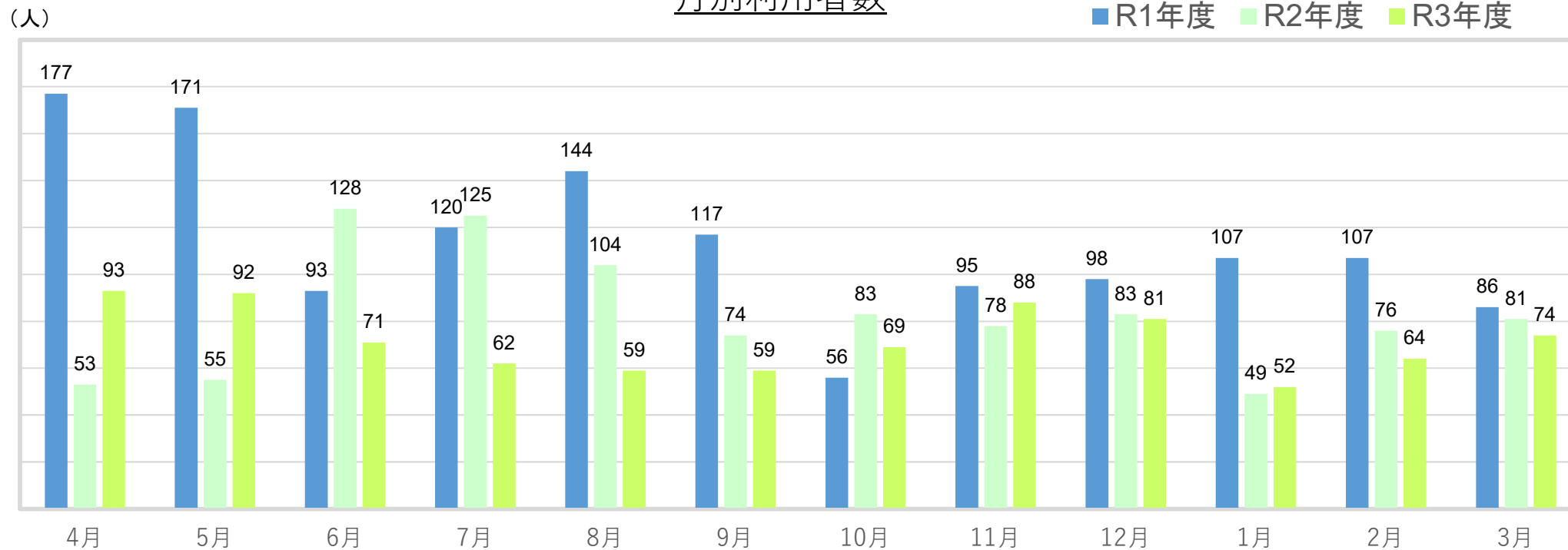
(2) 運行実績「利用者数」 【デマンド交通分】

- ・令和元年度は台風19号の影響により10月以降利用者が減少し、3月から新型コロナウイルスの影響により利用者が減少。
- ・令和2年度以降は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、利用者が大幅に減少しており、特に緊急事態宣言期間やまん延防止等措置重点地区対象となった期間に大幅な減少があった。

	運行回数	利用者
令和元年度	1,051回	1,371人
令和2年度	743回	989人
令和3年度	668回	864人

月別利用者数

■ R1年度 ■ R2年度 ■ R3年度



3. 運行継続条件の達成状況

「乗合タクシー」の運行継続条件（運行継続条件の達成状況）

実証運行期間中は令和元年度の台風19号や新型コロナウイルスの影響により利用が少ない時期が多くあったものの、運行継続条件は達成できている。

【運行継続条件】

- ・条件①「稼働した便の1便当たりの輸送人員が1.5人以上」
- ・条件②「全運行本数に対する実運行本数の稼働率が50%以上」

▼達成状況

	【条件①】 1便当たり輸送人員	【条件②】 稼働率
R1年度	1.6人	69.8%
R2年度	1.7人	56.4%
R3年度	1.7人	55.4%

※稼働率については平日が10回/日、土休日が7回/日運行を基準として、運行回数基準値を算出し、実運行回数との比較により算出。

4. 菅井地区デマンド交通の運行経費及び運賃収入額

実証運行期間における経費と収入

	運行経費 (A)	運賃収入額 (B)	市負担額 (A - B)
令和元年度	2,386万円	32万円	2,354万円
令和2年度	2,408万円	17万円	2,391万円
令和3年度	2,408万円	17万円	2,391万円

令和元年度～令和3年度の実証運行期間においては、菅井地区を2台体制（予備車除く）で運行していた。令和4年度からは1台体制（予備車除く）での運行としている。